



輝く日本一くりはら大賞を贈呈

6月29日(木)、文化、芸術、スポーツなどの分野で日本一に輝き、市民へ希望と勇気を与えた人に贈る「輝く日本一くりはら大賞」を、古川黎明中学校1年の崎野寛太さん(一迫保呂羽)に贈呈しました。

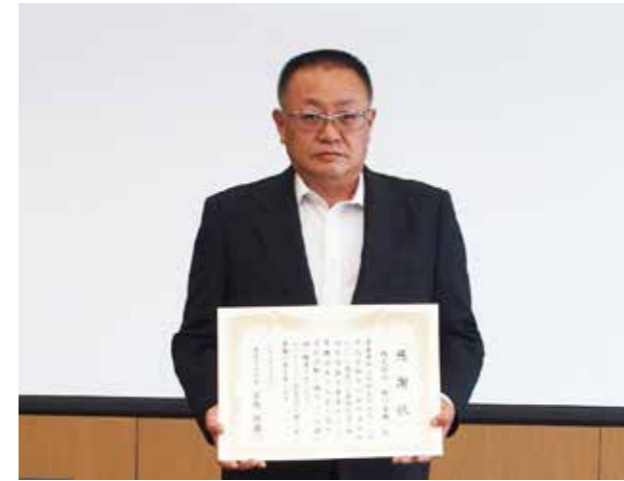
崎野さんは、令和4年度土砂災害防止に関する絵画・作文において、最優秀賞に当たる国土交通大臣賞を受賞しました。贈呈を受け「地域の防災活動の大切さを、全国の皆さんに知ってもらえて良かったです」と、喜びを述べられました。



伝統芸能と花の共演

6月18日(日)、一迫山王史跡公園あやめ園で「第35回みちのく鹿踊大会」が開催されました。あやめ祭りの期間中に行われたこの大会には、県内外から6団体が参加。会場には、美しい花々と伝統芸能の共演を一目見ようと、約650人の観客が訪れました。

踊り手は、会場いっぱい咲き誇るハナショウブを背景に、太鼓などの音色に合わせて迫力満点の鹿踊りを披露。観客からは、盛大な拍手が送られていました。



消火活動功績者に感謝状を贈呈

6月5日(月)に市消防庁舎で、消火活動に協力いただいた株式会社野口重機へ、市消防長から感謝状を贈呈しました。

これは、5月18日(木)に若柳川南町浦地区で発生した建物火災で、屋根トタンなどの撤去に必要な重機とオペレーターの手配や、撤去作業に尽力いただいたことから贈呈したものです。

野口重機代表は「今後も消防団協力事業所として、災害時などに協力していきたいです」と、述べられました。



(左から)白鳥さん、菅原さん、鈴木さん
長寿100歳おめでとうございます

6月13日(火)に白鳥ちよ子さん(築館赤坂)、20日(火)に菅原かつ子さん(栗駒若木)、7月5日(水)に鈴木ちよしさん(若柳上在)が、100歳を迎えられました。

白鳥さんは、離れて暮らす孫や家族に会える日を楽しみに、毎日元気に過ごしているそうです。菅原さんは、食べるのが好きで、身の回りのことは自分で行うことができるそうです。鈴木さんは、にぎやかな場所が好きで、周囲の人たちとの会話を楽しみながら、過ごしているそうです。



(前列中央)白鳥さん、(前列右から2人目)小野寺さん
稽古を重ねて優勝目指す

8月3日(木)と4日(金)に、東京都の東京武道館で開催される「第31回全国中学生空手道選手権大会」と、8月5日(土)と6日(日)に、福岡県の福岡総合体育館で開催される「第65回小学生・中学生全国空手道選手権大会」に、JKA築館空手道スポーツ少年団の皆さんが出場します。予選会を見事勝ち抜いた選手たちは、全国大会優勝に向けて、日々稽古を重ねているそうです。

なお、白鳥咲来さん(築館上町)と小野寺柚唯菜さん(志波姫宮中)は、両方の大会に出場します。



見て触れて感じる坑道探検

7月2日(日)、細倉マインパークで「ジオガイドによる30分でわかる!坑道ガイドウォーク」が開催されました。

約1200年の歴史があり、昭和62年の閉山まで多くの金属資源を産出、生産した細倉鉱山。実際に使用されていた坑道を、ジオガイドと歩くこの企画に、市内外から多くの人々が訪れました。

参加者は、細倉鉱山の歴史や、当時の鉱山で働いていた人たちの知恵を聞いたり、鉱石に触れたりしながら、坑道探検を楽しみました。



横綱目指して大熱戦

6月18日(日)、栗駒武道館で「第39回わんぱく相撲栗原場所宮城県大会」が開催され、市内外から約60人のちびっこ力士が集いました。

大会では、学年の部門ごとに横綱、大関、関脇が決められ、選手たちは、7月30日(日)に東京都の両国国技館で開催された全国大会への出場権を懸け、横綱目指して大熱戦を繰り広げました。

会場には、大勢の保護者や関係者が訪れ、勝負が決まると、子どもたちの健闘を称える声と大きな拍手が沸き起こっていました。



情景に思いをはせて

6月16日(金)から25日(日)まで、栗原文化会館を会場に「第21回栗原みてけらいん美術展」を開催しました。

会場には、市内の絵画愛好者が描いた油彩画や水彩画、水墨画など約100点を展示。栗駒山や伊豆沼・内沼など、古里・栗原の景色を描いたものから、美人画、静物画などさまざまなジャンルの絵画が並びました。

来場者は、描かれている情景に思いをはせながら、一点一点じっくりと鑑賞していました。